

癒しの空間ふれあい広場 最上川スワンパーク



# 白鳥のたより

第26号 令和3年3月号

発行・発行責任者 酒田市白鳥を愛する会 会長 後藤 榮

受賞記念号

ボランティア功労者に対する  
厚生労働大臣表彰 伝達贈呈式

令和2年12月24日 山形県庁5階



秘書課第一応接室にて

吉村 知事

後藤 会長

守屋副会長

酒田市白鳥を愛する会 会長 後藤 榮

令和二年十二月二十四日山形県庁にて、ボランティア功労者に厚生労働大臣より表彰があり、吉村美栄子知事より表彰状並びに記念品の伝達贈呈があり、後藤会長、守屋副会長が出席有難くいただきました。

多年にわたりボランティア活動を率先して行い、その功績が顕著であると評価され大臣が表彰されるものでした。白鳥を愛する会の先輩たちから引き継がれ、五十五年にも及ぶ輝かしい歴史が評価されたものと感謝しております。

昭和四十一年に第三中学生による白鳥の発見に始まり、地域住民中心の保護活動から小学生、中学生の児童生徒、保護者とともに環境保全・美化活動や、児童生徒の健全育成に資する活動など、地域をあげて取り組んできました。また、花壇づくりや地元企業との合同清掃活動など、住民主体の地域環境整備も実施。それに恒例行事となっております白鳥の「供養祭」を通じた、命の尊さの教育などにも注力し、広く地域福祉の向上にも力を入れております。

活動を通して、厳しい自然とたたかいつながり越冬にやってくる習性や、自然の厳しいルール、また自然の大切さ・ありがたさなども学び、同時に自然の恵みに感謝するという大事なことも学んでおります。これまで関わりをもって、白鳥を愛する会を応援してくれ、育ててくれたすべての皆さまに、心から感謝申し上げます。これからも変わらぬご支援お願いいたします。



これまでの主な受賞歴

環境省 自然環境局長賞 第64回愛鳥週間 全国野鳥保護のつどい 石川県金沢市  
 常陸宮殿下・妃殿下 列席 石川県立音楽堂 邦楽ホールにて受賞  
 山形県知事賞 第66回山形県・山形県民福祉大会 長井市大会会場にて受賞  
 小さな親切実行賞 酒田市前田製管本社2階応接室にて受賞(元文部科学大臣鈴木恒夫名)  
 厚生労働大臣賞 山形県庁5階 秘書課第一応接室にて 吉村知事伝達贈呈受賞

マコモ植栽会  
 場への仮設橋  
 の設置には、  
 毎回国土交通  
 省さんにお願  
 いをしておい  
 ます。安全第  
 一に考えてい  
 ただき、終了  
 と同時に撤去  
 作業もお願い  
 しております。



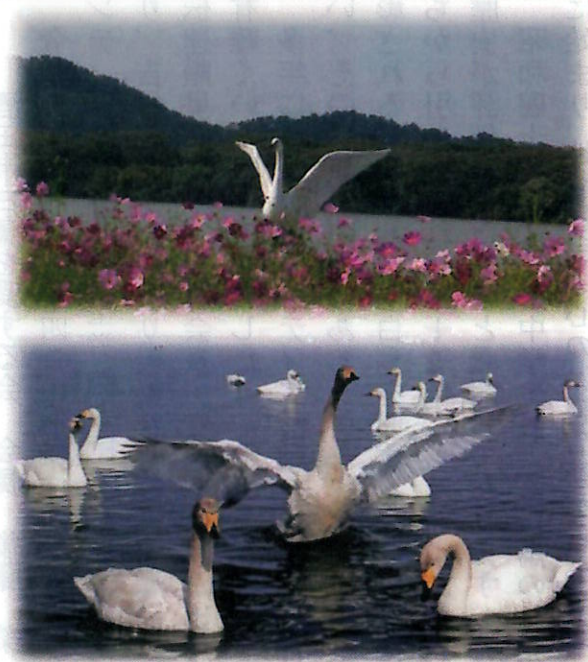
一朝夕にはならず「継続の大切さ」  
 皆さん、かつて最上川は酒田港・赤川と繋がっていたことを知っていますか？私どもの先輩方が、大正六年（一九一七年）より苦勞して分離工事を行い、現在の形になっています。  
 近年では、全国的に頻発する災害を踏まえて、川の流れを良くするため、令和元年度にスワンパーク付近の中洲の樹木及び土砂の撤去工事を行いました。（白鳥のたより第二十五号参照）  
 物事とは一朝夕には成り立ちません。継続して実施することは素晴らしいことですが、決して一人では成り立ちません。この度の受賞は、皆様の活躍のみならず「酒田市白鳥を愛する会」五十五年の歴史を重ねてきた先輩方を含めた活動に対する功績への評価だと思えます。  
 私どもも協力できる範囲（平成五年より実施しているマコモの植栽など）で継続して協力していきたいと思っております。

国土交通省 東北地方整備局 酒田河川国道事務所 酒田出張所  
 所長 岩田 貴之

白鳥に学ぼう 子育て家族愛！

白鳥は、家族の絆の強いことで知られております。飛来から越冬中も、また、北帰も家族はまとまりをもって行動します。一度夫婦(めおと)になったら一生変わらず添い遂げるといわれております。

毎年十月の声を聞くと、クオー・クオーという鳴き声と共に、白い旅人・純白の使者「白鳥」が、シベリアから酒田の空にあらわれます。最上川スワンパークは、国内でも有数の白鳥飛来地であり、市民や観光客の皆様から、白鳥とのふれあいを楽しめる「観光スポット」として、県内にとどまらず、県外の観光客、また外国の観光客にも親しまれております。安全な「ねぐら」としての越冬環境、また、恵まれた庄内平野という広大な餌場といった、越冬に好条件のスワンパークを、白鳥が評価し酒田最上川スワンパークを、越冬地を選んでいただいております。観光客には、寒さをもともしないで「雪景色と白鳥」を楽しんでいただいております。



998-8540  
 山形県酒田市本町2丁目2-45  
 酒田市長  
 まるやま いたる  
 丸山 至  
 TEL 0234-22-5111

配達指定日 月 日  
 配達時間帯希望  
 A 9 2 7 3 4 0 4 5 2 3 9 3 A  
 ① 1 ② 1 ③ 慶 ④ リ

この度のボランテニア功労団体厚生労働大臣表彰受賞誠にありがとうございます。心からお祝い申し上げます。後藤様はじめ会員の皆様の永年積み重ねられましたご功績に対し、深甚なる敬意を表しますとともに更なる活躍とご健勝を祈念いたします。

酒田市長 丸山 至

受賞決定翌日の新聞報道当日、いち早く酒田市長丸山至様より祝電が届きました。いつもの素早い対応にビックリいたしました。本当にありがとうございました。披露させていただきました。





であい・ふれあい・めぐりあい はげましあい・たすけあい・ささえあい  
よろこびあい・わかちあい・しんじあい

仏教用語 『忘己利他(もうこりた)』

いいことは人に与えて、悪いことは自分が引き受けて、人の幸せのためにつくしましょう。  
という、仏教の根本精神！

※ 【忘】は、(ぼう)と読みますが、仏教では、濁点・濁ることを嫌うため(もう)と読んでいるそうです。



「真心」をつないで

酒田市立第三中学校  
校長 今野 誠

酒田市白鳥を愛する会の「厚生労働大臣賞」受賞、誠にありがとうございます。  
酒田三中生と貴会との関係は、酒田市体育館にある石碑『最上川 白鳥渡来地』に刻まれていて、貴会と共に取り組んでいる白鳥のえさとなる『マコモ植栽』活動は、毎年、生徒会で生徒総会の議案書に位置付けています。  
この『マコモ植栽』活動には、休日に全校生徒から有志を募って取り組んできたのですが、年々、有志が増え平成三十年には四〇〇人を超える参加がありました。令和元年・二年は残念ながら地震・コロナ禍により中止と判断しましたが、昭和四十年代に餌付けに取り組んだ当時の三中生の「真心」というパンフレットが引き継がれていると確信しています。  
近年、鳥インフルエンザの影響を受け餌付けができない状況ですが、スワンパークで白鳥を優しく見守り続ける会員の皆様に敬意を表するとともに、今後も皆様のご指導のもと「真心」をつないでいきたいと希望申し上げます。



作業終了後『感想・反省・夢・希望』の発表 和気あいあいの和やかな楽しいワンシーン

先に進む者は 後に続く者への 責任があります

ボランティア活動は 誉められようとしてやらなくても  
継続することにより 評価されるようになります！

※ しかし、認めてもらえると、「チョッピリ」は、どなたかのお役に立てたのかな？  
と想うと、やはりうれしくなり、励みになりますよね。・・・(ホンネ?)

毎年東北電力さんの社員や、電力さんを訪れる関係者の皆様のご厚意による募金を、本会に寄贈していただいております。心温まるご厚意に心から感謝申し上げます。



東北電力ネットワーク(株) 酒田電力センター

所長 加藤 健司

「厚生労働大臣賞」受賞、誠にありがとうございます。心よりお祝い申し上げます。  
この度の受賞は、白鳥の発見・保護から始まり、今もボランティア活動を継続している小中学生やご家族の方々、「酒田市白鳥を愛する会」を結成しこれまで活動されてきた地元の方々の多くの方々の、長年のご努力が実を結んだものと感謝いたしております。  
私たち東北電力ネットワークの社員も、通勤時にはスワンパークから庄内平野にV字飛行する白鳥を見上げ、現場に出た際には庄内平野で採食する白鳥を見つけて、多くの白鳥が飛来していることを大変嬉しく思い、私たちの清掃活動なども微力ながら、お役に立っているように感じております。  
これからも、白鳥の飛来する自然豊かな酒田市と一緒につくってまいります。



作業前の贈呈式



毎年実施している「合同」の取り組み「清掃活動」



体験の大切さ！

体験というのは誰でもあるんですけども、例えば死にそうになった体験をしたとか、エベレストを登って落ちそうになったとか、そういうのばかりが体験じゃないわけですよ。体験というのは、わからないところに隠れていて、道を歩いているときにチョット石に蹴つまずいて、その石というものが人生で大きな意味を持ちやうこともあるんだよ。小さな石がね。そういう体験が大事なんだが、そういう体験を自分で大きな意味を持たすという能力も大事なんだよ。と、三島由紀夫のことばです。(今年が没後50年です。元気でいてほしかった一人ですよ)

※ 会う喜び 聞く喜び 見る喜び なんととっても 知る喜び そして 体験する喜びです！

第三中学校卒業生 町屋 日菜  
私は中学生の時、マコモ植栽ボランティアに毎年参加しました。三年生では、初めて川に入ってマコモを手で、一株ずつ植える作業を行いました。白鳥を愛する会の皆さんに手順を丁寧に教えていただき、大切に植えたのを覚えています。川での作業は足場が悪く、少し大変でしたが友達と協力して楽しく取り組みました。また、三生生みなどで、白鳥の保護活動に参加できましたことは、とても貴重な体験だったと感謝しています。このボランティア活動で学んだ「命の尊さ」や、「酒田を愛する気持ち」を忘れずに、今後も生活していきたいです。



第三中学校卒業生

町屋 日菜

「逆風に負けず」  
この度の「厚生労働大臣賞」受賞、誠にありがとうございます。皆様の長年にわたる白鳥の保護活動に感謝申し上げます。私も、中学時に、花壇の整備やマコモの植栽に参加したことを鮮明に覚えております。先日、山形新聞でスワンパークの白鳥像が老朽化しているという記事を拝見しました。修理の見通しが立たず、「逆風に立つ白鳥像」というタイトルが強く印象に残っています。作今の情勢により、私たちも「逆風」に立たされています。この困難を乗り越えるために私たちは、白鳥がV字で飛行し、協力し合いながら体力の消耗を抑えているように、一人ひとりが出来ることをし、互いに手を取り合って生きて行くことが必要だと考えます。最後に、白鳥を愛する会の益々の発展をお祈りし、これからも、白鳥が飛来する酒田の風景を守り続けていくために、私は、自分を白鳥に重ね、出来ることを考え、貢献できるように頑張りたいと思っております。



第三中学校卒業生

元 生徒会長  
齋藤 汰朗

みんなの目標 . . . 必要とされる人 指名される人

人とのつながり たのしい仲間

ボランティアは いくら つくしても つくしても 見返りはありません  
「見返りを求めない無償の奉仕は 人間の行いで一番美しいことです。

こんな美しい行為はないでしょう。」

誇りと自信をもって 参加してくれている皆さんに 心から感謝です  
将来の人生にきっと 重い 重い 意味を持つことでしょう！

日本一の白鳥飛来地として知られる「最上川スワンパーク」、発足以来元会長、安藤興吉氏の偉業を継続し、地域の皆様に支えられ、会員みんなで厳しい強風・吹雪のなか、白鳥の楽園づくりをしました。県内一円に白鳥の餌収集、また早朝より餌となるパンを刻みシーズンに備える作業、今振り返れば私たちの活動は、一人ひとりが心をひとつにし、行政や関係団体との連携のもと、共に成長してきた白鳥を愛する会だと思えます。長年の活動が認められ、数々の賞をいただきました。また、この度は厚生労働大臣よりボランティア功労団体賞を受賞、伝達贈呈式に同行させていただく機会も得ました。長い間活動に関わってきた感無量です。私は、たくさんの仲間と出会い、心が豊かになる素晴らしい学びを経験。過ぎ去った時間はアツという間に感じますが「人生の宝もの」です。



経験は「人生の宝もの」  
副会長 守屋啓子

私が参加させてもらった「マコモの植栽活動」をしている「白鳥を愛する会」が、今回厚生労働大臣賞を受賞されたということ、大変喜ばしいことでもあります。私が中学生のころから、今も続いていることが、酒田市の観光資源のひとつになっていくことも嬉しいです。白鳥の飛来地として定着しているからだと感じております。以前には、餌やりが体験できましたが、鳥インフルエンザ以後はできません。したがって、スワンパークには人が集まることがないだろうと思っておりましたが、会員の根気強い活動が今回の受賞につながったのだらうと思っております。このような活動が、山形県が行っているSDGS活動、学習の一環として「生物多様性」「生態系の保全」といった自然の豊かさを学べるような学習として、後世につながってほしいと思っております。



第三中学校卒業生の 齋藤 永久です。現在大学生です。コロナ・コロナで大変で～す。







あの日・あの時 信頼・感謝

受賞 スナップ写真 報道写真 記事



石川県立音楽堂 邦楽ホール  
常陸宮殿下 妃殿下 列席  
第64回全国野鳥保護のつどい

愛鳥週間 全国野鳥保護のつどい  
野生生物保護功労者表彰  
環境省自然環境局長賞 受賞

⇒ 厚生労働大臣表彰 県庁  
令和二年十二月二十四日(木)  
(コロナ禍の中マスク着装)



小さな親切実行賞

⇒ 第六十六回 山形県・県民福祉大会  
平成二十八年十一月七日 長井市会場  
ボランティア功労賞 県知事表彰



平成30年12月19日  
前田製管本社二階応接室

- ◇ボランティアには、上も下も・大きいも小さいも、ありません。自由があります。
- ◇白鳥を愛する会の活動は、教えるのではなく「呼び水」のひとつです。
- ◇みなさんそれぞれ、いいものを持っておられます。
- ◇それをつなぎ合わせて、地域のために結び付けるのが、白鳥を愛する会です。
- ◇自分が育ったところで、前を向いてせっせ、せっせと歩いて、  
『住んでよかった酒田』を、創っていきましょう。
- ◇白鳥は自然の汚れ・人の心の汚れには、敏感です。
- ◇白鳥は酒田を必要とし、指名して越冬地を選んでくれています。
- ◇ご安心ください…。次のページにも目を通してね…。

人と人のつながり たのしい仲間！

はずむ会話 ・ こぼれる笑顔

笑顔はみんなの財産です！



私は、中学一年・二年のとき、「マコモ植栽」ボランティア活動に参加しました。一年生の時はスワンパークの花壇への花の苗植え、二年生の時はマコモを植える作業担当の、三年生に苗を運ぶ担当でした。三年生の時は台風で最上川が増水し、安全のため中止でした。残念でしたが、一年・二年の経験は私にとって、すごく大切なものになったと思います。

長い間、受け継がれてきたボランティアを、地域の方々に協力していただきながら、仲間と楽しんで活動し、地域に貢献できたことはすごく誇らしいことでした。

高校生になった今でも、冬に飛来してきた白鳥を見ると「マコモ植栽」ボランティアを思い出します。酒田市の最上川のシンボルともいえる白鳥のため、全校規模で行うこの「マコモ植栽」ボランティアは、これから先何年も、何十年も、三中の在校生でつないでいき、三中が誇るこの活動をさらに広げてほしいと思います。

第三中学校卒業生 守屋 はな



餌付け当時のなつかしい貴重な写真





# 会員募集

輝かしい歴史を  
みんなでつなげよう

## ボランティアは 自分自身が成長できる場所です！ 必要とされる喜びも ここに 있습니다！

今、ボランティアは一部の人のものではありません。自分のスタイルでボランティアをはじめませんか。

酒田市白鳥を愛する会では、広く会員を募集しております。

会員の方の声を紹介させていただきますと「ボランティアを始めて心から良かったなと思つたのは、活動を通じて人とのつながりが出来たこと、そして『自分』を発見できたことです」と言っております。

**年齢・性別・地域、また、個人・団体なども問いません。** 通年募集で何時でも入会できます。友達などお誘いし、巢ごもりから脱出、私たちの仲間に入りませんか。

五十五年の輝かしい歴史を、みんなで新しい歴史のページを積み重ねていきましょう。

活動を始める前に「これといった特技もないし、人と話すのも得意じゃない、参加したらかえって迷惑になるのでは？」などと不安になることはよくあります。でも実際は、**ボランティアはどんな人でもその人なりの貢献の仕方があるので**

大切なのは自分にできることを考えながら活動することです。自分なりの役割が見つかる、活動が楽しくなります。まず自然体でボランティアに関わってみてはいかがでしょう。

**地域のつながりの大切さや、社会の問題点、地球環境の危機感など、ボランティアはそんなことにも気づかせてくれる、数少ない場のひとつであると言つてもよいでしょう。だからこそボランティアは、年齢性別を問わず、誰もが自分なりの魅力を発見できる場所なのです。** 仲間が連絡を楽しみにお待ちしております。

問合せ・相談窓口 ☎ 23-7481

松原コミュニティ防災センター内  
(白鳥を愛する会の事務所があります。  
職員が対応後会員より連絡いたします)



### 編集後記

コロナ禍の今、心も身体もそして経済も疲弊、窮乏しています。そんな中、私は七十年代最後の年を迎えました。

今ほど豊かではなかったが、明るくて楽しくて、何の不安もいかなかった遠い昔を、時々思い出します。

国民の八十パーセント以上が、自分の暮らしは「中の上」と答えている今、「新しい暮らし方」がすべての国民に求められております。

まちなかの状況も一変しております。深刻な様相を呈してきております。

疑いたくなる食品ロス問題、目に余る使い捨て暮らし、そのような豊かさは本物だろうか。この時期、今耐えている「質素な暮らし」そんな暮らしも大切ではないでしょうか。

みんなで知恵を出し、早くコロナから脱出したいもの。自分を守ることが、家族を守り地域をも守ります。(後藤 榮)